

市内園児に交通安全ワッペン

安城南ライオンズクラブ(LC)、会長＝杉浦弘昌(ミトノ社長)はこのほど、安城市桜町の安城商工会館で開いた例会で、安城市内保育園・幼稚園児に対する交通安全ワッペン・バッジの贈呈式を行った。「交通の災禍を絶とう愛の手で」をスローガンに、本年度創立50周年を迎えた同クラブの発足以来続けている継続事業。今回で51回目を迎えた。

安城市を通じて市内の公私立保育園・幼稚園に、交通安全ワッペン5



園児代表に交通安全ワッペンを付ける杉浦会長

安城南LCが贈呈式

100個と交通安全バッジ1700個を贈った。贈呈式には安城北部幼稚園の園児2人が参加し、杉浦会長らが園児にワッペンを付けた。今回、ワッペンをリニューアル。光を反射する蛍光素材を採用し、より安全性を高めた。ワッペンは右肩、バッジは帽子に付けられている。

杉浦会長は「クラブの原点といえる事業。親子3代でワッペンを付けている人もいる。今後も贈り続けていきたい」と話していた。

目録を受け取った安城市子ども課の太田美鈴課長補佐は「50年間、大変長い間お世話になっている。園児服に黄色のワッペン姿は、市民の間でなじみになっている」と感謝していた。

(安城)



交通安全ワッペンを手にする杉浦会長